

栃木県立那須清峰高等学校&本学建築・社会基盤学系有志学生による市民向け発表会
～道の駅「明治の森・黒磯」での近代化遺産パネル展示発表会～

創生工学科建築・社会基盤学系
福 島 二 朗

1. 日 時 平成 25 年 11 月 23 日（土・祝）9：30～15：00
2. 場 所 道の駅「明治の森・黒磯」旧青木家那須別邸庭園
3. 参加学生 511048 大里綾、511069 影山瑞季、511094 久米身佳、
511225 蛭田愛
4. 報 告

栃木県立那須清峰高等学校建設工学科と足利工業大学建築・社会基盤学系 3 年次生の有志が、栃木県那須塩原市内に現存する近代化遺産の概要をパネルにまとめ、道の駅「明治の森・黒磯」を会場として、市内外からの来場者を対象に発表会を開催した。

本発表会は、那須清峰高等学校との高大連携として 2011 年度から実施してきた特別授業を踏まえた成果発表会として、毎年この時期に実施して来た取り組みであり、今年度で 3 年目となる。例年、『全国近代化遺産活用連絡協議会』が主催・実施している「近代化遺産全国一斉公開事業」に那須塩原市に参加を依頼し、その企画事業として市民向け発表会を実施してきた。今回の発表会には、那須清峰高校建設工学科 3 年次生 7 名と本学建築・社会基盤学系 3 年次生 4 名が参加し、制作した那須塩原市の近代化遺産解説用パネル等 11 枚を使い、訪れた市内外の来場者に解説した。

本発表会への参加をとおして、近代化遺産が有する歴史的・文化的意義を学ぶとともに、地域への愛着心の醸成、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力の涵養、さらなる自己啓発に結びつくことを目途としている。

なお、発表会当日は、オープニングセレモニーとして、那須塩原市教育委員会小池久史係長・都野成一那須清峰高等学校教頭から挨拶を頂戴するとともに、小職が開催趣旨を述べた。また、飯野洋一本学教育連携センター副センター長・下妻久男前副センター長、田島儀雄那須清峰高等学校建設工学科長、飯泉剛史教諭が参列した。また、下野新聞那須塩原支局の取材を受けた。

以上



発表会場にて記念撮影



来場者への解説